

令和4年度 第3回 神戸中学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年9月9日（金）18：00～19：00

2 場 所 神戸中学校図書室

3 出席者 委員：是枝徳義，兼丸良政，林佳代子，阿部雅登，白塚山隆彦，
河北瑞希，北村 武，高山 剛，木村元彦（学校長）

欠席：平子正人

教育委員会：杉谷直俊（教育支援課）

学校教職員：市川泰（教頭），樋口智己（教頭），

幸田則仁（研修主任・国語科担当），青木友紀（数学科担当），

青木健太（学力向上担当・理科担当）

4 あいさつ（委員長）

2学期が始まり，学校運営協議会委員の授業参観ウィークでは授業に熱心に取り
組む姿を参観できた。今後，様々な行事があるが，引き続き，新型コロナウイルス
感染症や熱中症への対応に心がけ，教育活動を充実させてほしい。

委員の皆さんも，学校の教育活動への関心をさらに高めていってほしい。

5 報告

（1）第2回学校運営協議会実施報告書

学校長から，事務局で取りまとめた実施報告書の確認を依頼し，了承を得る。

（2）学校や生徒の様子について（別紙学校通信等）

学校長から発行済学校通信等をもとに最近の学校生活の状況等について説明する。

6 協議

（1）神戸中学校生徒の学力について

学校長から，令和4年度全国学力・学習状況調査結果の概要について説明すると
ともに第3学年国語科・数学科・理科の教科担当教員から，取組の現状や課題等
について説明する。

（国語科担当教員）

読むことや書くことについては，入学以降の継続的な課題と捉え，特に書
くことについてあきらめてしまう生徒もいることから，できる限り書く場面
を設定してきた。このことで，改善途上にあると捉えている。

文章を読み自分の考えを書くことは，様々な力を用いる必要があり，生徒
にとっては，書くことへの抵抗感を感じているのではないかと思う。読むこ
とについては，各教科でもよみとく力を課題として取り組んでいる。

（数学科担当教員）

平均正答率からみると改善傾向を示しているが，国語や理科と同様に記述

して回答する問題や、他の意見に基づいて説明する問題に課題が積みこされている。

教科書の記述内容や問いかけなども以前の教科書とは変わってきている。

表，図，式を用いて表現する力をつけていく必要があると考えている。

(理科担当教員)

日頃の授業での様子からすると、思っていた以上に無解答率が高かったように思っている。今まで問われてきたような内容は相応に回答できている。

しかし、問われていることが変わってきている中で、自分の考えを理科的に記述して回答するといった新たに問われるようになった問題への対応が、やはり課題となっている。

1時間の解答時間に、粘り強く取り組む力も求められると思う。

(委員からの意見等)

- ・小学校国語科の結果も聞いたが，“書く”ことの時間が少なくなっていると感じる。
- ・教室や廊下の掲示物を見たが、すでに習っているはずの漢字が使われておらず、簡単な漢字でも平仮名で書かれている。
- ・家庭でも“漢字を使って書く”ことを呼び掛けていく必要があるのではないか。
- ・社会人を見ているが、若い世代で文章を書けない、文章になっていない状況がある。また、漢字が書けないといった若い社会人も多くなっている。若い社会人への研修は、報告書などを活字（入力）ではなくあえて書いて提出させるようにしている。
- ・メールやLINEなどの普及で絵文字を多用するようになり、書く習慣がなくなることで思考が停止してしまうことを心配する。間違っているとしても良いので、文章を書くことを習慣化する必要があるのではないか。
- ・国語格差と言われるが、読むことや書くことの個人差が大きくなっていると思う。
- ・文章から心情を考えることが、学校だけでなく家庭でも取り組めればと思う。
- ・市では、子ども読書活動推進計画が作成されているので、今一度、学校や家庭などで読書の取組を振り返り、働きかけていく必要があるのではないか。
- ・スマホで本が読める時代となり、書く機会を与えていく必要があると思う。
- ・読書に親しむために絵本などは親しみ易いのではないか。
- ・思考力，判断力，表現力を培うことは、中学校だけでなく、小学校や高等学校でも求められている。どのような方法で取り組めば力をつけられるか試行錯誤している実態もある。生徒に必要な学力とは何かを考える必要もあるのではないか。
- ・平行四辺形の面積は、これまでなら公式に数字を当てはめれば解けていたことが、解き方などを説明することが求められることになって、どのように子どもたちに理解させるか、授業の仕方が変わってきているのだろうと思う。

(2) 学校運営協議会委員を中心とした学校支援について

学校長から、学校運営協議会委員のネットワークを生かして、校区に在住されている方で、生徒の多様な学習機会の保障に向け、教員では伝えられないような様々な特技や経験、知識や技能を持って見える方や、教員の事務作業の軽減に協力いただける方などのリスト化を図りたい考えについて説明する。

(委員からの意見等)

- ・学校運営協議会として、何らかの取組を行っていくことは教育活動の充実につながり良いことと考える。
- ・学校や生徒から信頼される方々を募っていくことは大切なことと思う。
- ・すぐではないが、今後も協議することで学校、保護者、地域のそれぞれの果たす役割が具体化されていけばと思う。
- ・次回も継続的な議題としていきたい。

7 その他

(1) 2学期学校行事の予定について

学校長から、2学期の主な学校行事の予定や対応について説明する。

(2) 第4回学校運営協議会

次回の学校運営協議会を、令和4年10月21日(金)18時00分から開催することを確認する。